

2-2 市民意向

2-2-1 市民アンケート調査

(1) 実施の目的

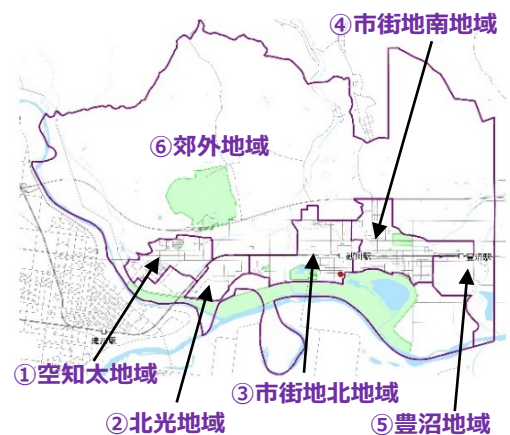
「砂川市都市計画マスタープラン」及び「砂川市緑の基本計画」の策定にあたり、まちづくりに対する市民意向などを把握し、今後のまちづくりに生かしていくため、市民アンケート調査を実施しました。

※砂川市第7期総合計画策定時に同様のアンケートを行っているため重複の設問は避けることとしました。

- ・前都市計画マスタープラン・緑の基本計画の検証
- ・市民の住まいや暮らし方の実態の把握
- ・今後の取り組みへの関心やアイデアの吸い上げ

(2) 調査の対象・回収状況

- ・実施地域：砂川市全域
- ・対象：砂川市在住の18歳以上の男女
- ・配布数：1,500名
- ・抽出方法：住民基本台帳から地域別・年代別に等間隔で無作為抽出
- ・発送：令和2年7月14日郵便にて発送
- ・回収：令和2年7月14日から8月7日まで砂川市宛の郵送にて回収
- ・回収票：549票（回収率：36.6%）
- ・回答した方の属性



(問1) 年齢	①10代	②20代	③30代	④40代	⑤50代	⑥60代	⑦70歳以上	未回答・不明	合計		
	13 2.4%	60 10.9%	96 17.5%	101 18.4%	92 16.8%	63 11.5%	121 22.0%	3 0.5%	549 100%		
(問2) 性別	① 男性		② 女性			未回答・不明		合計			
	214 39.0%		317 57.7%			18 3.3%		549 100%			
(問3) 居住地	① 空知太地域	② 北光地域	③ 市街地北地域	④ 市街地南地域	⑤ 豊沼地域	⑥ 郊外地域	未回答・不明	合計			
	74 13.5%	3 0.5%	150 27.3%	213 38.8%	6 1.1%	91 16.6%	12 2.2%	549 100%			
(問4) 職業	① 会社員	② 公務員・ 団体職員	③ 自営業 (商店・企業 経営)	④ 農林業	⑤ 専業 主婦 (主夫)	⑥ パート・ アルバイト	⑦ 学生	⑧ 無職	⑨ その他	未回答・ 不明	合計
	131 23.9%	67 12.2%	32 5.8%	8 1.5%	74 13.5%	73 13.3%	22 4.0%	114 20.8%	23 4.2%	5 0.9%	549 100%
(問5) 居住年数	① 5年未満	② 5～9年	③ 10～19年	④ 20～29年	⑤ 30年以上	未回答・不明	合計				
	53 9.7%	39 7.1%	89 16.2%	87 15.8%	275 50.1%	6 1.1%	549 100%				
(問6) 車の保有 状況	① 世帯で車を持ち、 自分も運転している		② 世帯に車はあるが、 自分は運転していない		③ 世帯で車を保有してい ない		未回答・不明	合計			
	418 76.1%		76 13.8%		51 9.3%		4 0.7%	549 100%			

※集計結果を回答数の構成比で示していますが、構成比は小数第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にはなりません。

(3) 集計結果

① 現在の砂川市のまちづくりについて

問7. <<砂川市都市計画マスタープランについて>>現行の計画での目標（1～3）は下記の通りです。最近10年間のまちづくりの様子から、あなたは目標に近づいていると思いますか。（単数回答）

砂川市都市計画マスタープランの目標について、全ての目標で近づいていないとの回答が多いものの、「目標2 自然環境を活かした持続的な都市づくり」では「近づいている」「やや近づいている」をあわせると40.7%と比較的高くなっていますが、「目標1 コンパクトな市街地を活かした都市づくり」では「あまり近づいていない」「近づいていない」をあわせると60.1%となっています。市街地空洞地の有効活用や歩いて暮らせるまちづくりの推進を感じていないと考えられます。

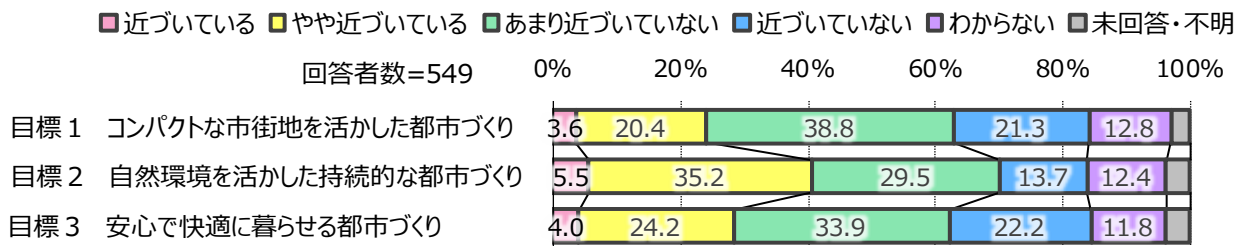


図 7-1 都市計画マスタープランの目標について【全体】

問8. <<砂川市緑の基本計画について>>現行の計画での目標（4～6）は下記の通りです。最近10年間のまちづくりの様子から、あなたは目標に近づいていると思いますか。（単数回答）

砂川市緑の基本計画の目標について、「目標4 豊かな水と緑、良好な田園など緑の財産を後世に継承する緑づくり」では「近づいている」「やや近づいている」をあわせると54.4%と高くなっているが、「目標6 市民と協働でおこなう都市の緑化と維持・保全」では「あまり近づいていない」「近づいていない」をあわせると49.2%となっています。自然環境や公園・緑地については充実してきていると感じているが、協働での緑づくりについては実感できていないと考えられます。

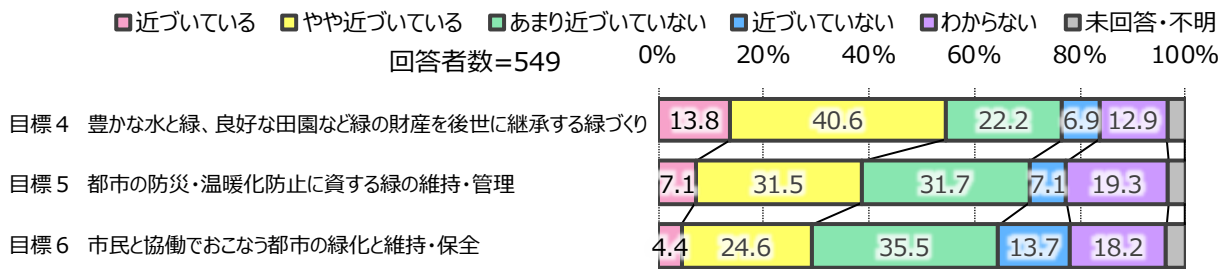


図 8-1 砂川市緑の基本計画について【全体】

② 生活利便施設や移動手段について

問9.あなたが下記の目的で店舗や施設を利用する頻度や主な利用場所について教えてください。(頻度：単数回答、場所：複数回答)

利用する頻度について、「週1～2回以上」利用するが「1.食料品(生鮮・一般)」が79.4%と最も多くなっており、次いで「2.日用品・日用雑貨」が37.5%となっています。

利用施設についても、「1.食料品(生鮮・一般)」が794票と最も多く、次いで「2.日用品・日用雑貨」が642票となっています。利用場所では「1.食料品(生鮮・一般)」では「滝川市」が216票で最も多く、「2.日用品・日用雑貨」では「中心市街地地域」が165票と最も多くなっています。

食料品や日用品などの利用頻度の多いものについては、比較的近くの施設を利用し、飲食店や衣料品、家具などは市外の施設を利用する傾向が見受けられます。

「空知太地域」や「郊外地域」では滝川市の施設を利用する回答が、多くなっています。

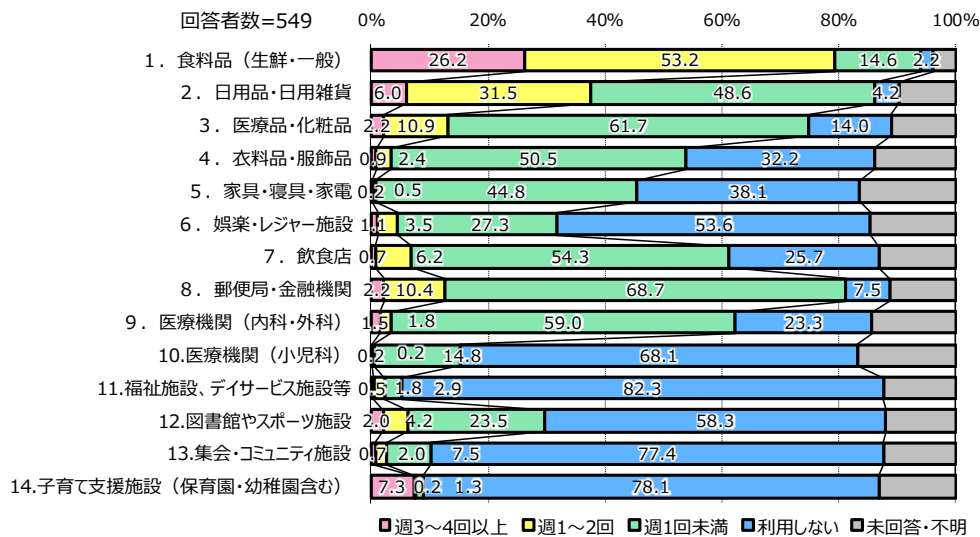


図9-1 店舗や施設の利用頻度【全体】

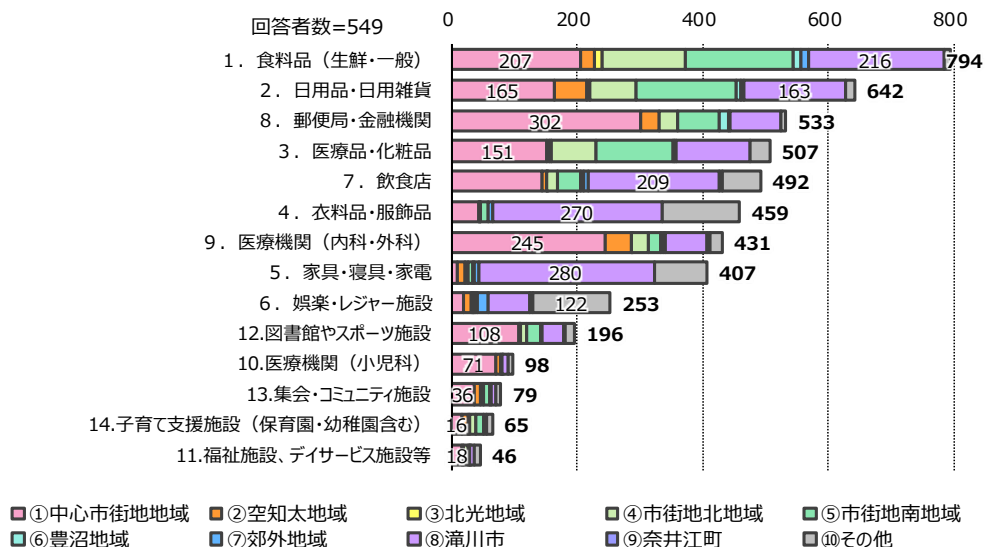


図9-2 店舗や施設の主な利用場所【全体】

問 1 0 .お出かけの目的別にあなたがよく使う移動手段について教えてください。（複数回答）

よく使う移動手段について、全ての目的について「自家用車・バイク」が最も多く、「①買い物、飲食」では 454 票となっています。「その他」以外の目的では「徒歩・自転車」が 2 番目に多くなっています。

自家用車の利用頻度が高いものの、日常の買物や飲食など、比較的近い施設へは徒歩・自転車を利用して いると考えられます。

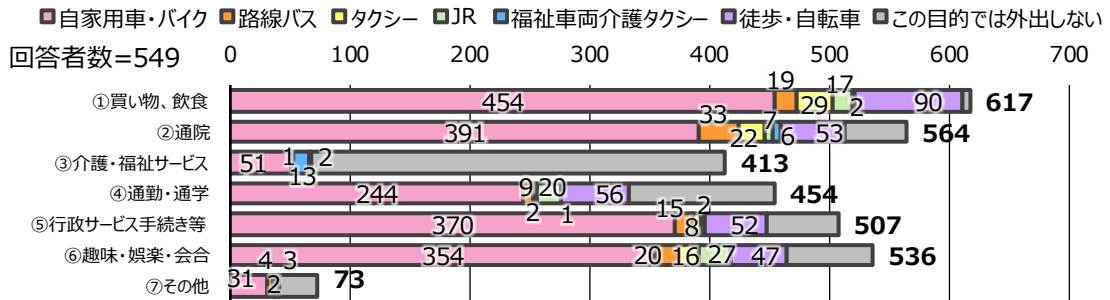


図 10-1 目的別よく使う移動手段【全体】

問 1 1 .現在のあなたの暮らしを考えた時に、各々の移動手段はどの程度重要であると思いますか。（単数回答）

移動手段の重要度について、「①自家用車・バイク」において「とても重要」「やや重要」を合わせて 86.0%と最も多くなっています。次いで「⑥徒歩、自転車」43.4%、「④JR」40.4%となっています。

現状で自家用車での移動は重要であるが、徒歩や自転車、JR についても重要とする意見が多くなっています。

「北光地域」「市街地北地域」「市街地南地域」「豊沼地域」では「⑥徒歩、自転車」が、「空知太地域」「郊外地域」では「③タクシー」と「④JR」が、2 番目に重要となっています。

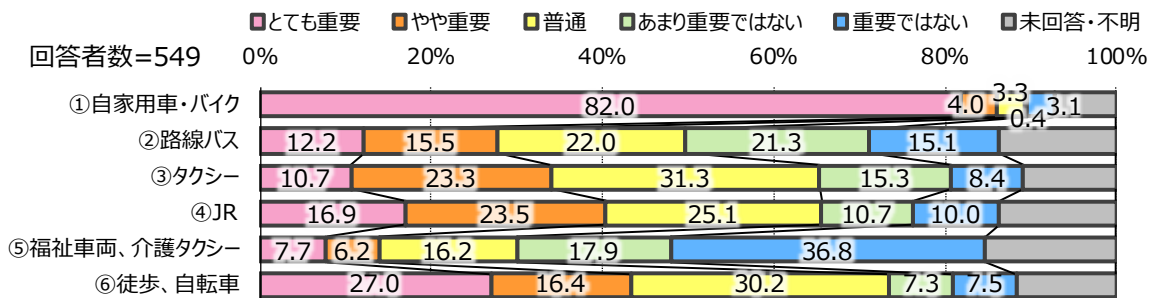


図 11-1 移動手段別重要度【全体】

問 1 2.あなたの将来（10～20 年後）の暮らしを考えた時に、各々の移動手段は現在と比較してどの程度重要になるとお考えですか。（単数回答）

将来の移動手段の重要度について、「③タクシー」が「とても重要」「やや重要」を合わせて 69.2%で最も多くなっており、次いで「①自家用車・バイク」が 62.6%、「⑤福祉車両、介護タクシー」が 60.7%となっています。現状では 2 番目に多かった「⑥徒歩、自転車」が 43.0%と最も少なくなっています。

将来は自家用車ではなく、公共交通機関の重要性が高まる傾向が見受けられます。

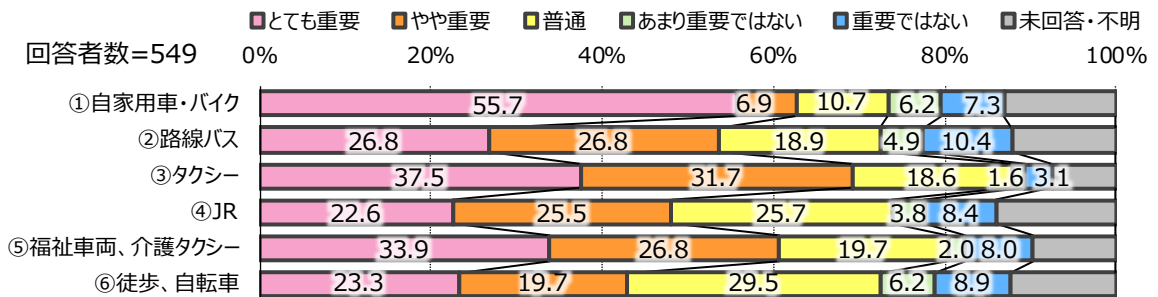


図 12-1 将来の移動手段別重要度【全体】

【移動手段の重要性 現在と将来の比較】

移動手段の重要性を現在と将来とで比較すると、現在では重要性が高い「①自家用車・バイク」「⑥徒歩、自転車」が減少し、「②路線バス」「③タクシー」「④JR」「⑤福祉車両、介護タクシー」の重要性が伸びています。

若い年代では、将来においても、自家用車・バイクの重要度が高くなっていますが、年齢があがるにつれて重要度が下がっています。

将来は、自家用車も重要としつつ、公共交通機関での移動が重要になると考えられます。

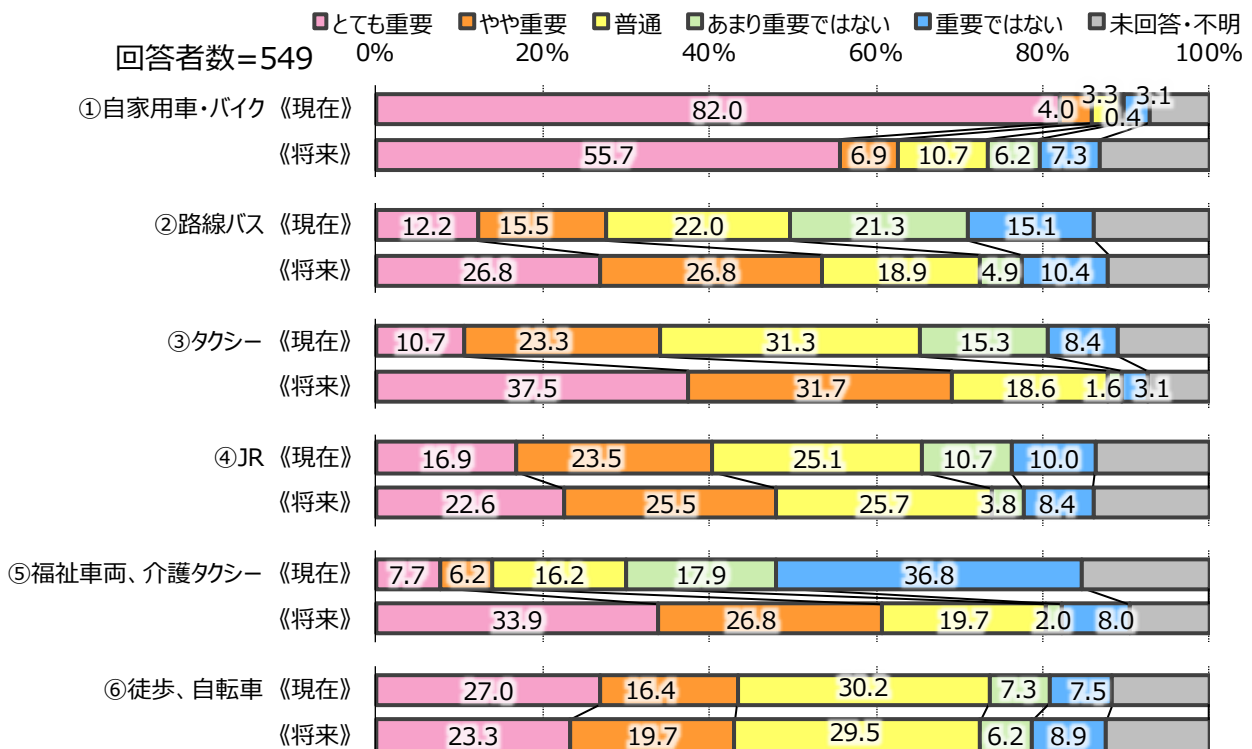


図 12-4 移動手段別重要度 現在と将来の比較【全体】

③ これからの砂川市のまちづくりについて

問 1 3. 今後の市街地全般の「土地利用」について、力を入れるべきと思う取り組みを教えてください。（複数回答）

土地利用について力を入れるべき取り組みは、「③空き店舗や空き家、空き地の解消」を回答者の 55.2%が選択しており最も多く、次いで「⑧便利なまちなかに買物・医療・子育て等の機能を確保」48.1%、「⑤企業誘致、新たな雇用の確保」45.2%となっています。

「③空き店舗や空き家、空き地の解消」を半数以上が回答しており、重要な課題であると考えられます。

「北光地域」では「⑧便利なまちなかに買物・医療・子育て等の機能を確保」「⑤企業誘致、新たな雇用の確保」が、「豊沼地域」では「⑥観光や交流に資する機能の維持・充実」が最も多くなっています。

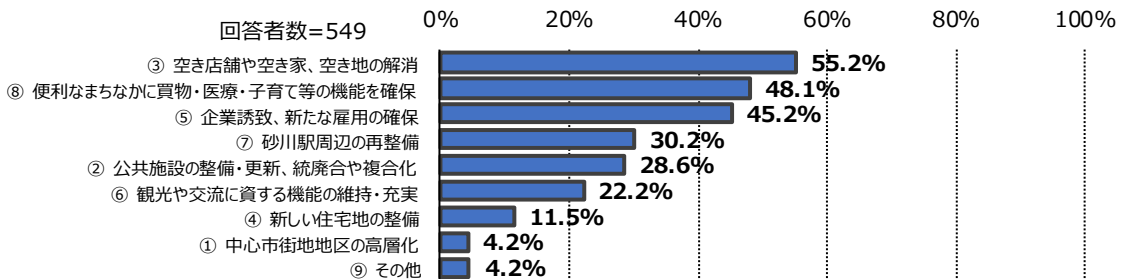


図 13-1 土地利用について力を入れるべき取り組み【全体】

問 1 4. 人口減少や少子高齢化などを踏まえて、公園の目指すべき方向性についてどのようにお考えですか。（複数回答）

公園の目指すべき方向性は、「②地域のニーズに合った公園の利活用を目指す」を回答者の 62.5%が選択しており最も多く、次いで「①民間企業等の活用による公園利用の活性化を目指す」36.1%、「③維持管理を適切に行い、今までと同じ利活用で良い」32.8%、「⑤利用者の少ない公園・緑地は廃止してよい」32.4%となっています。

公園利用者の年齢やライフスタイルなどニーズに合った公園整備が望まれていると考えられます。

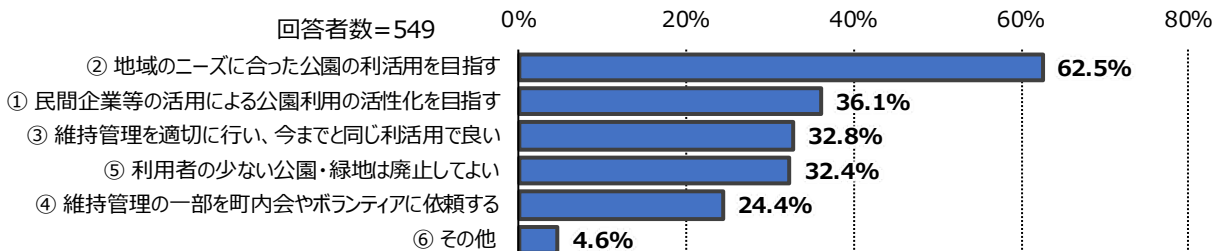


図 14-1 公園の目指すべき方向性【全体】

問 1 5.人口減少や少子高齢化などを踏まえて、公園の遊具について、今後どのような方針で進めていくべきだとお考えですか。（単数回答）

公園の遊具については、「②利用の少ない遊具の撤廃・入替により総数を減らすべきである」が 40.3%と最も多くなっており、次いで、「③今ある遊具を適切に維持管理するべきである」が 28.8%、「①維持管理費の削減のため、遊具は減らすべきである」が 10.0%となっています。

遊具については量よりも質を求められている傾向が見受けられます。

「市街地北地域」「市街地南地域」では「②利用の少ない遊具の撤廃・入替により総数を減らすべきである」が、多くなっています。

- ① 維持管理費の削減のため、遊具は減らすべきである
- ② 利用の少ない遊具の撤廃・入替により総数を減らすべきである
- ③ 今ある遊具を適切に維持管理するべきである
- ④ 公園の利用促進のため、遊具を増やすべきである
- ⑤ その他
- 未回答・不明

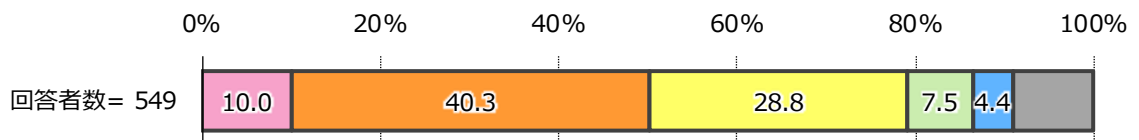


図 15-1 公園遊具の今後の方針【全体】

問 1 6.今後、砂川市の緑について行政に望むことを教えてください。（複数回答）

緑について行政に望むことについて、「⑧市民を対象とした環境教育や農業体験の場などを充実させる」を回答者の 43.0%が選択しており最も多く、次いで「③景観の魅力を向上させるため、緑の管理を強化する」が 34.2%、「④樹木・樹木の保全制度を充実させる」が 26.0%となっています。現在は緑の量よりも質が求められており、更に緑と触れ合う機会が求められていると考えられます。

「空知太地域」と「豊沼地域」では「③景観の魅力を向上させるため、緑の管理を強化する」が、「市街地北地域」では「⑧市民を対象とした環境教育や農業体験の場などを充実させる」が、最も多くなっています。

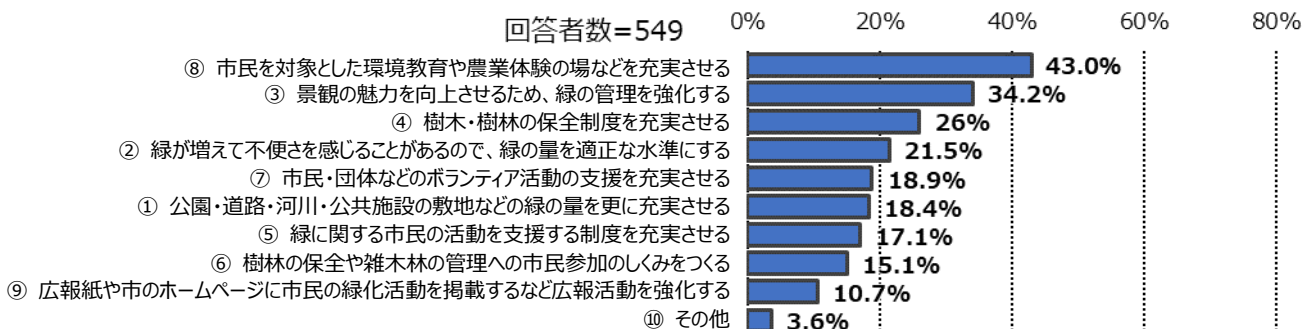


図 16-1 緑について行政に望むこと【全体】